

岡山商科大学孔子学院で文化サロンを開催

2021年12月22日（水）の午後7時から8時半まで、岡山商科大学孔子学院で文化サロンを開催した。今回の文化サロン参加者は合わせて23名。そのうち岡山孔子学院の受講生が14名、岡山商科大学の留学生が9名である。



本学院副学院長の韓雲冬が文化サロンの司会を務めた。まず、韓副学院長よりサロンの流れを簡単に紹介した後、黎曉妮学院長が開催の挨拶を行った。その中で、本学院で開催した初めてのサロンのことを振り返り、今回の文化サロンを通じて、参加者の皆様が中日両国の新年における風習と文化を理解する上で、本学院がすこしでもお役に立つことができると語った。



黎学院長の挨拶の後、文化サロンに入る。まず、岡山大学商学科2年生の孫蘇と雷思霓により、流暢な日本語で、中国の春節の由来や風習について、パワーポイントを用いて詳しく紹介された。





次に、孔子学院上級中国語会話クラスの 6 名の受講生より日本の新年の風習について詳しく紹介された。その中で、大倉聡志さんと森本泰弘さんは中国語で説明を行い、ほかの方は留学生のことを考慮して中国語と日本語を混ぜて、日本の新年の風習を紹介した。受講生の中で、河原暁子さんと田中真澄さんは、今回の文化サロンでの発表のために、初めてパワーポイントを作成した。また、大口和真さんは、日本の新年の風習である初詣を生き生きと紹介するために、週末を利用して、わざわざ岡山の幾つかの神社を回って資料収集を行った。

日本のお正月の過ごし方について

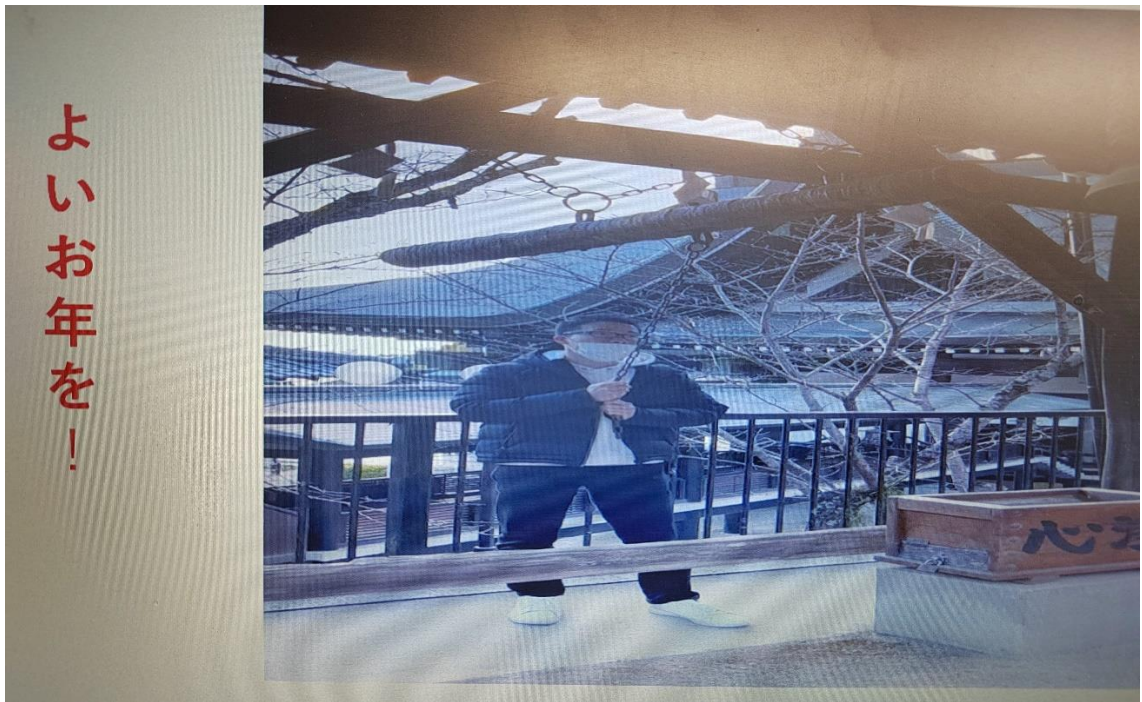
発表者：上級中国語会話クラス全員

2021年12月22日



中日の新年風習についての紹介後、参加者はグループに分かれて自由交流の時間に入る。新年に関する風習と各地域の習わしなどについて、学院の受講生と留学生との交流は、充実したものとなった。





文化サロンの最後に、閉会の挨拶として、副学院長李東輝が、参加者に感謝の意を述べた。また、今後、受講生の皆様には、中国語学習をはじめ中国文化について理解を深めるために、存分に孔子学院を利用し、頑張っていたきたいと述べた。

岡山商科大学孔子学院副院長 李東輝

2021年12月26日